

2024年 5月度

【ネットワーク促進部】

<他企業・団体と連携した専門家派遣事業>

★国が認証する唯一の情報セキュリティ認証「技術情報管理認証制度（TICS）」は、経済産業省主導により今年7月には「自工会・部工会サイバーセキュリティガイドライン」と連携した認証基準改定（同ガイドラインLV1基準を追加した新認証基準）が告示発表される予定です。今後、経済産業省と自動車業界との連携が進めば、約6千社超の中小企業がTICS認証取得の検討を始めるかもしれません。当協会は2024年度もTICS認証機関の日本金型工業会、日本金属プレス工業協会と連携し、セキュリティ対策のレベルアップを目指す中小企業に対して、監査・審査資格やセキュリティ知見のあるITCを公募・登録して派遣し、指導助言や認証審査を進めてまいります。（松下担当）

★一昨年度と昨年度のビジネスマッチングセミナーで公募し、専門家としてITCに活動していただいている「東京都テレワーク導入ハンズオン支援コンサルティング事業」（パソナ事務局）が今年度もスタートしました。現在30名ほどのITCに専門家登録をしていただいておりますが、6月12日（水）のビジネスマッチングセミナーで新規の専門家を追加公募したいと考えております。今年のビジネスマッチングセミナーは新規のマッチング案件もありますので、関心のある方はぜひセミナーにご参加ください。（山川担当）

https://www.itc.or.jp/foritc/seminar/b_240612.html

<自治体関連取り組み>

★5月20日、自治体支援WGの第2回（通算第16回）WGを開催いたしました。今回のWGでは2023年度OJTに参加した9案件延べ11名のトレーナーの方からの「OJT報告会」を行いました。OJT報告会には昨年度の基礎研修受講者を中心にリアル、オンラインで50名の方が参加、トレーナーの報告とトレーナーの解説を熱心に視聴されていました。OJT報告会の様子は後日アーカイブ視聴ができるようにする予定です。また、今年度の自治体支援基礎研修1回目は6月29日（土）に開催いたします、現在受講者（リアル、オンライン）募集中です。今年度と昨年度の受講者を対象にしたOJTは今年度も積極的に実施していきますので、自治体支援に関心のある方、携わ

ってみたいと思う方は、どうぞ研修にご参加ください。（山川担当）

<https://www.itc.or.jp/foritc/seminar/jichitai2024.html>

★山形県 DX 推進課より、「山形県川西町特定任期付職員（CIO 補佐官）」の公募協力依頼があり、結果として ITC の方が採択されました。今後も、山形県内の地方自治体との関係性を強化し、山形県内のデジタルトランスフォーメーション（DX）に向けたさまざまな支援を推進いたします。（松田担当）

★新潟県においては DX 総合相談体制整備事業の公募があり、ITC 新潟は第四北越フィナンシャルグループが中心となって設立した「地域商社」である”ブリッジにいがた”と連携し本事業を採択しました。本年度に入り、従来以上に地方自治体や公益団体からの公募案件が増えております。協会としては、IT コーディネータの更なる認知度向上とともに ITC 活躍の場づくりに努めてまいります。（松田担当）

<金融機関取り組み>

★内閣府の「地域デジタル化支援促進事業」では、地域デジタル化支援を担う間接補助事業者（金融機関）の第二次公募（5月29日から7月3日）が告示されました。第一次公募（4月に採択済み）と同様に、金融機関内の DX 推進体制の整備や採択事業者への人材育成支援に取り組まれることで、中小企業のデジタル化を促進していくことが期待されています。（松田担当）

<中小企業共通 EDI に関する取り組み（鈴木、野田担当）>

★ITCA つなぐ IT 推進協議会普及企画部会では、経済産業省とウラノス・エコシステムに関する 2 回目の意見交換を行いました。今回は技術面を担当する IPA・DADC（デジタルアーキテクチャ・デザインセンター）もご参加され、ウラノス・エコシステムのアーキテクチャをご説明いただきました。ITCA からはつなぐ IT 推進協議会標準部会で開発を進めている国際標準である UN/CEFACT に基づいた日本版サプライチェーンデータモデルの提案を行いました。

★共通 EDI プロバイダと連携し、共通 EDI 推進サポータ向け認証製品・サービス勉強会の開催準備を進めております。サポータの皆様にはこの勉強会を通じて認証製品・サービスへの理解を深め、多くの支援事例を創出していただくことを期待しております。

★つなぐ IT コンソーシアム（ITCA は幹事、事務局担当）では 6 月 24 日開催の総会に向けて、役員会にて今年度の活動内容について検討しています。コンソーシアム結成から 6 年経ち、共通 EDI の普及拡大のためには認証製品・サービスを更に増やす必要があります。そのために今年度は中小企業共通 EDI 標準仕様の最新版である ver.4.2 に準拠した「認証取得」を促すために会員向けの勉強会を開催し、新たな分野（中小業界団体等）での導入事例を作っていきます。

【研修制度デザイン部】

★2024 年度第 1 期のケース研修も 5 月より無事スタートし、5 月末で 158 名の方にお申込みをいただいています。申込時期としては折り返し点であり、引き続き多くの方にお申し込みいただけるよう取り組んでまいります。

★ITC 試験関連では、2024 年度第 1 期試験 7 月 26 日（金）～9 月 9 日（月）の準備を進めています。ダイヤモンド社発行の『週刊ダイヤモンド』に金融機関系チラシを同梱します。IT コーディネータ資格を PR できるような他媒体への広告掲載も準備中です。

★フォローアップ研修では、今年度の新講座をご用意いたしました。ITCA 主催では 1 講座、実施機関開催では 6 講座の開催を予定しております。講師・実施機関の皆様とも情報共有し、ご協力いただきながら講座の拡充に向けて取り組んでまいります。

★ITCA 研修では、5 月 29 日に生成 AI をテーマにしたセミナーをサービス提供企業の方にご登壇いただき開催いたしました。参加者が約 300 名となり、ITC の生成 AI に対する関心の高さがうかがえました。今年度のセミナーでは、テーマに拘らず、依頼する講師に生成 AI の事例などもお願いしていこうと思いますので、注目いただければ幸いです。

【コミュニティデザイン部】

★経済産業省と共催で5月15日（水）にオンライン開催した『スプリングWEBカンファレンス』は、全国から500名を超えるITC、中小企業支援機関の方にご参加いただきました。経済産業省から刊行された「DX支援ガイドンス」について同省の方からのご説明、支援機関の一翼を担う金融機関からのデジタル化支援事例報告、協会から新プロセスガイドラインの紹介などを行いました。再度視聴のご要望も多くいただいており、協会のYoutubeチャンネルにアップしましたので是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=xN-09Om8B-g>

★2024年度のITC資格更新は、5月末に締め切りを迎え、対象者7,172名のうち、6,636名の方に更新いただきました。年に1回の手続きのため、例年ID・パスワード再確認やポイント登録方法など様々な照会があり、今回も電話照会を約30件、メール照会を約200件ほどいただきましたが、ほぼ即日解決の対応をいたしました。また更新手続きへの着手に時間がかかっている方に向けて、メールでのご案内を計11回、電話によるお声掛けを延べ300件ほどいたしました。今後、やむを得ない事情で手続きが間に合わなかった方の受付など、若干の変動があり、最終的な数字は8月に確定いたします。

★2023年度の決算処理を行い、5月に監事監査を実施いたしました。2023年度は収支総額で5百万円黒字の予算計画としましたが、ケース研修が昨年度に引き続き好調であったこと、PGL改訂関連支払の後ろ倒しによる当年度支出減などもあり、結果として25百万円の黒字決算となりました。詳細は6月27日の通常総会にて報告、承認をいただいた後、監督庁である東京都に提出し、都のNPOポータルサイトおよび協会のHPに掲載いたします。